



中国四国地域の和食文化ネットワーク

メールマガジン 第 41 号

配信日：2022 年 11 月 1 日



例年、野生の毒キノコによる食中毒が発生しています。

食用きのこ間違えられやすい毒きのこは、見た目が似ているだけでなく、食用きのこと同じ場所に生えていることがあり、見分けることが困難な場合があります。少しでも疑わしいと感じた野生きのこは採らないようにご注意ください。

農林水産省 HP にも掲載しておりますので、ご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/rinsanbutsu/yaseikinoko/yaseikinoko.html>

【目次】

1. 農林水産省「毎日お茶のある暮らしキャンペーン（秋バージョン）」の募集
2. 文化庁「100 年フード」及び「食文化ミュージアム」の公募を開始
3. 文化庁 文化審議会の答申（登録無形文化財の登録及び保持団体の認定）

1. 農林水産省「毎日お茶のある暮らしキャンペーン（秋バージョン）」の募集

農林水産省は、日本茶の消費拡大の一環として、時代に合ったお茶の楽しみ方を提案している事業者の方々と連携して、「毎日お茶のある暮らしキャンペーン」を行っています。

春、夏に続いてキャンペーン第三弾として「日本茶×秋の味覚」を随時募集します。

秋も深まるこの時期ならではの、栗や柿といった果物やこれらを使用した和菓子・デザートなど、秋の味覚と日本茶を組み合わせた楽しみ方を募集し、情報発信を行います。

お茶の生産者や事業者の皆様に加え、果物の生産者や和菓子店など皆様からのご応募をお待ちしております。

https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/tokusan/221006_5.html

2. 文化庁「100 年フード」及び「食文化ミュージアム」の公募を開始

文化庁は、今年も、地域で受け継がれ愛されている食文化を掘り起こし、100 年続く食文化として継承することを目指す「100 年フード」の取組を進めるため、参加してくださる地方自治体、協議会、民間団体等を広く募集します。

また、食文化への学びや体験の提供に取り組む博物館、道の駅、食の体験・情報発信施設等に関する情

